

發令年月日 (例)	增 手 當額	現 手 當額	現手當給與年月日	職名	備考
年(月)手當何圓	年(月)手當何圓	年(月)手當何圓	年(月)手當何圓	何青年學校教諭	事由等ヲ本欄ニ記スルコト

●公立青年學校職員任命二關スル件

昭和十年四月十五日
兵社教第二八四號學務部長通牒

各市町村長 各青年學校長宛

本年四月一日ヨリ實施相成タル青年學校ノ職員ヲ任用スル際ノ發令手續ハ任命ト補職トヲ區別スルコト相成候處本年四月一日勅令第四十六號ノ規定ニ依リ勅令施行ノ際現ニ本縣公立實業補習學校判任待遇職員ノ職ニ在ル者ニシテ其ノ僅公立青年學校ノ職員ニ任セラレタル場合ハ補職ヲモ含ムモノナルニ付御了知ノ上左記ニ據リ關係書類ヲ夫々御措置相成度記

一 專任者ノ場合
昭和十年四月一日勅令第四十六號ニ依リ兵庫縣公立青年學校長(教諭、助教諭、書記、舍監)ニ兼任シ現在勤學校長(教諭、助教諭、書記、舍監)ニ補セラル

二 兼任者ノ場合
昭和十年四月一日勅令第四十六號ニ依リ兵庫縣公立青年學校長(教諭、助教諭、書記、舍監)ニ兼任シ現在勤學校長(教諭、助教諭、書記、舍監)ニ補セラル

2 昭和十年四月一日勅令第四十六號ニ依リ兵庫縣公立青年學校教諭(助教諭)兵庫縣公立青年學校長ニ兼任シ現在勤學校教諭(助教諭)兼

「兵庫青」

「兵庫青」

支給方ニ關スル件「通牒ノ前項及加俸ノ事項ハ今次ノ改正勅令竝ニ文部省令施行ノ日以後ハ自然其ノ適用ヲ消滅セシ次第付爲念申添候記

一、教職員應召シタル爲教育上特ニ補缺ノ必要アルトキハ應召者ノ事故止ミタル際ノ措置及財政上ノ關係ヲ考慮シ適當ノ處置ヲ講ズルコト
二、應召教職員ノ俸給手當支給ニ就テハ法令、規程改正ノ精神ヲ重ンジ特ニ遺憾無之様配意スルコト

(参照)

勅令第四百四十八號(昭和十二年八月二十一日)

公立學校職員分限令中左ノ通改正ス。

(第四條、第五條、第九條省略)

第八條 第一項第二號中「告訴又ハ告發セラレタルトキ」ヲ「起訴セラレタルトキ」ニ改メ同條第二項中「又ハ戰時事變ニ際シ召集セラレ」ヲ削ル

文部省令第二十九號(昭和十二年八月二十三日)抄

從前ノ第百二十三條ノ規程ニ依リ戰時事變ニ際シ召集セラレ現ニ休職中ノ第百二十三條中「又ハ戰時事變ニ際シ召集セラレ」ヲ削ル

附 則 (抄)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

從前ノ第八條第一項第二號ノ規定ニ依リ休職ヲ命セラレ本令施行ノ際現ニ休職中ナル者ニ付テハ同號ノ改正規定ニ拘ラズ仍從前ノ例ニ依ル但シ第四條及第九條第二項ノ改正規定ノ適用ヲ妨げズ從前ノ第八條第二項ノ規定ニ依リ戰時事變ニ際シ召集セラレ現ニ休職中ノ者ハ別ニ辭令ヲ用ヒズ本令施行ノ日ニ於テ復職ヲ命セラレタルモノトス

文部省令第二十九號(昭和十二年八月二十三日)抄

第二章 教職員

職名

氏名

年月日

麻

七二

公立學校職員年功加俸令第六條ニ依リ年功加俸ノ支給ヲ停止ス

第一號様式一 (第三條第一號ノ場合)

年功見込額	加俸額	勤續滿五箇年トナ	同上翌日現在俸給月	加俸令第一條二依	現任學校
年功見込額	加俸額	勤續滿五箇年トナ	同上翌日現在俸給月	加俸令第一條二依	現任學校
年功見込額	加俸額	勤續滿五箇年トナ	同上翌日現在俸給月	加俸令第一條二依	現任學校
年功見込額	加俸額	勤續滿五箇年トナ	同上翌日現在俸給月	加俸令第一條二依	現任學校
年功見込額	加俸額	勤續滿五箇年トナ	同上翌日現在俸給月	加俸令第一條二依	現任學校

第一號様式二 (第三條第二號ノ場合)

年功見込額	加俸額	勤續滿五箇年トナ	同上翌日現在俸給月	加俸令第一條二依	現任學校
年功見込額	加俸額	勤續滿五箇年トナ	同上翌日現在俸給月	加俸令第一條二依	現任學校
年功見込額	加俸額	勤續滿五箇年トナ	同上翌日現在俸給月	加俸令第一條二依	現任學校
年功見込額	加俸額	勤續滿五箇年トナ	同上翌日現在俸給月	加俸令第一條二依	現任學校
年功見込額	加俸額	勤續滿五箇年トナ	同上翌日現在俸給月	加俸令第一條二依	現任學校

第一號様式三 (第三條第三號ノ場合)

年功見込額	加俸額	勤續滿五箇年トナ	同上翌日現在俸給月	加俸令第一條二依	現任學校
年功見込額	加俸額	勤續滿五箇年トナ	同上翌日現在俸給月	加俸令第一條二依	現任學校
年功見込額	加俸額	勤續滿五箇年トナ	同上翌日現在俸給月	加俸令第一條二依	現任學校
年功見込額	加俸額	勤續滿五箇年トナ	同上翌日現在俸給月	加俸令第一條二依	現任學校
年功見込額	加俸額	勤續滿五箇年トナ	同上翌日現在俸給月	加俸令第一條二依	現任學校

第一號様式四 (第三條第四號ノ場合)

年功見込額	加俸額	勤續滿五箇年トナ	同上翌日現在俸給月	加俸令第一條二依	現任學校
年功見込額	加俸額	勤續滿五箇年トナ	同上翌日現在俸給月	加俸令第一條二依	現任學校
年功見込額	加俸額	勤續滿五箇年トナ	同上翌日現在俸給月	加俸令第一條二依	現任學校
年功見込額	加俸額	勤續滿五箇年トナ	同上翌日現在俸給月	加俸令第一條二依	現任學校
年功見込額	加俸額	勤續滿五箇年トナ	同上翌日現在俸給月	加俸令第一條二依	現任學校

〔兵庫膏〕

〔兵庫膏〕

備考
第一號様式中加俸合第一條ニヨル勤續年數ハ大正九年九月三十日現在ニ於テ勤續五年以上ニ達シタルモノハ同日ニ於テ勤續五年ニ達シタル者ト看做シ計算ス

第二號様式

公立學校職員年功加俸受給者異動報告書

第三號樣式	何	郡學校	五年以上十年未滿	十年以上十五年未滿	十五年以上	元職名立 氏名
			八拾圓	八拾圓	八拾圓	
何(道府縣へ轉任) 休職(休職給有無)	退職	職	八拾圓	八拾圓	八拾圓	名
			八拾圓	八拾圓	八拾圓	
死亡何々			未滿圓	未滿圓	未滿圓	計
			八拾圓	八拾圓	八拾圓	

青年學校助教學校諭諭長	員職長校學諸等中	小保訓合助教學	教學校	計姆導監諭諭長	職員種別	勤續年數	補給月額	以八	五年以上十年未滿	十年以上十五年未滿	十五年以上	元職名立 氏名	
									八	拾	八		
								上圓	未	八拾圓	未	八拾圓	未
								八拾圓	八拾圓	八拾圓	八拾圓	八拾圓	八拾圓
								未滿圓	未滿圓	未滿圓	未滿圓	未滿圓	未滿圓

〔兵庫青〕

備考欄ニハ退職休職免職廢職轉任死亡又ハ其他ノ事由ニ依リ加俸ノ支給ヲ罷メタル場合等加俸支給上ニ異動ヲ生シタル時ハ其ノ事由及年月日ヲ朱書スルモノトス

第五號株式

武
全

自大正年月日	大正年月日	大正年月日	大正年月日
自大正年月日	大正年月日	大正年月日	大正年月日
自大正年月日	大正年月日	大正年月日	大正年月日
自大正年月日	大正年月日	大正年月日	大正年月日

●公立學校職員年功加俸給與二關スル件

昭和十二年十一月三十日

兵學第三六五五號學務部長通牒

各市町村長 各公立學校長(小學校ヲ除ク)宛

本日兵庫縣令第五十五號ヲ以テ公立學校職員年功加俸給與細則中第一號書式改正相成候處右ニ依レバ發令ノ翌日ヨリ加俸ハ給與セラルベキ儀ニ付自此公立學校職員年功加俸給與細則第三條第一號第三號ニ關シテハ其ノ見込ヲ以テ一月前ニ同第二號第四號ニ關シテハ其ノ内申ト同時ニ別紙ヲ以テ加俸給與方内申相成様遺憾無キヲ期セラレ度

尚判任待遇ヨリ委任待遇ニ身分ノ變更アル時ハ第一號ニ依リ同様加俸下賜方内申スベキモノニ付仰留意相成度
但シ改正縣令公布ノ日以前竝ニ十二月中ニ該當者有之向キハ至急内申相成度

●公立學校職員年功加俸受給者異動報告ニ關スル件

昭和二年二月三日

兵學第九二四號學務部長通牒

公立中等學校長 市長 町村立實業補習學校長宛

〔兵庫省〕

〔兵庫省〕

●公立學校職員旅費其ノ他給與規則

大正九年九月十五日

兵庫縣令第八十五號

君等 昭和二年一二月縣令第五八號改正

公立學校職員旅費其ノ他給與規則左ノ通定ム

公立學校職員旅費其ノ他給與規則

第一條 公立學校職員(縣ノ經濟ニ屬スルモノヲ除ク)ニシテ公務ノ爲旅行シタルトキハ本則ニ依リ旅費ヲ支給ス

第二條 旅費ハ鐵道貨車馬賃日當宿泊料食卓料赴任手當移轉料及家族

移轉料ノ九種トス

車馬賃日當宿泊料食卓料赴任手當移轉料及家族移轉料ハ別表ニ依リ之ヲ支給シ鐵道貨ハ左ノ區別ニ從ヒ旅客運賃(通行稅ヲ含ム)及急行料金ニ依リ船貨ハ旅客運賃(通行稅及好船貨ヲ含ム)及急行料金ニ依リ鐵道貨ノ例ニ準シ計算シタル實際ノ料金ヲ支給ス

一、委任文官ト同一ノ待遇ヲ受ケル學校長及教諭ニ在リテハ一等ノ運賃但シ一等車ノ連結ナキ線路ニ依ル旅行ニ在リテハ二等ノ運賃

二、其ノ他ノ職員ニ在リテハ二等ノ運賃但シ特別ノ必要ニ依リ一等車ニ乗車シタル場合ニ於テハ一等ノ運賃

三、運賃ノ等級ヲ二階級ニ區分スルモノニ在リテハ上級ノ運賃其ノ等級ヲ設ケサルモノニ在リテハ乗車ニ要スル運賃

四、五十哩以上ノ旅行ニ在リテハ普通急行料金但シ急行料金ヲ徵セサル線路ニヨリ旅行スル場合ハ此ノ限ニアラズ

五、百哩以上特別急行列車ニ乗車シタル場合ニ於テハ特別急行料金

第二章 教職員

八四

第四號書式

扶助料請求書

公務員又ハ普通恩給權者 氏 名

右者 年月日死亡候ニ付扶助料ヲ給與相成度證據書類相添へ請求候也

公務員トノ身分關係
本籍地 現住所

年月日

兵庫縣知事 殿 氏 名印

第五號書式

扶助料請求書

前扶助料權者 氏 名

右者 年月日失樓候ニ付扶助料ヲ給與相成度證據書類相添へ請求候也

公務員又ハ普通恩給權者トノ身分關係
本籍地 現住所

年月日

兵庫縣知事 殿 氏 名印

第六號書式

一時恩給請求書

年月日〇〇〇(官職)ヲ退職致候ニ付一時恩給ヲ給與相成度證據書類相添へ請求候也

退職當時ノ官職名
本籍地 現住所

年月日

兵庫縣知事 殿 氏 名印

第七號書式

一時扶助料請求書

公務員又ハ普通恩給權者ノ退職當時ノ官職名 氏 名

右者 年月日死亡候ニ付恩給法第八十一條ノ規定ニ依リ一時扶助料ヲ給與相成度證據書類相添へ請求候也

公務員又ハ普通恩給權者トノ身分關係
本籍地 現住所

年月日

兵庫縣知事 殿 氏 名印

第八號書式

一時扶助料請求書

公務員ノ官職名 氏 名

右者 年月日在職中死亡候ニ付恩給法第八十二條ノ規定ニ依リ一時扶助料ヲ給與相成度證據書類相添へ請求候也

公務員トノ身分關係
本籍地 現住所

年月日

兵庫縣知事 殿 氏 名印

第九號書式

扶助料轉給請求書

停止中ノ扶助料權者 氏 名

右者犯罪ニ因ル扶助料停止期間中扶助料ヲ轉給相成度證據書類相添へ請求候也

公務員トノ身分關係
本籍地 現住所

年月日

兵庫縣知事 殿 氏 名印

第十號書式

扶助料停止請求書

停止セラルヘキ扶助料權者 氏 名

右者 年月日以來所在不明ニ付扶助料ヲ停止相成度證據書類相添へ請求候也

公務員トノ身分關係
本籍地 現住所

年月日

兵庫縣知事 殿 申請者 氏 名印

第十一號書式

再審查請求書

年月日退職ニ因リ普通恩給及增加恩給ヲ給セラレ候處未タ傷痍(疾病)回復セサルヲ以テ再審查相成度證據書類相添へ請求候也

退職當時ノ官職名
本籍地 現住所

年月日

兵庫縣知事 殿 氏 名印

第十二號書式

履歴書

退職當時ノ官職名

氏

年月日生

名

年	月	日	記	事	官	公	署	名

備考

一履歴書ハ二通提出スヘシ(他府縣ノ在職年數ヲ通過スル場合ハ各一通ヲ増スコト)
 一學歴、位記、勳記、賞與ノ記載ヲ要セス
 一官職任免、轉任、陞等、昇級等ハ順々逐々間隙ナキ様ニ詳記スヘシ
 一退職ノ事由ヲ明記スヘシ

第十三號書式

「兵庫青」

年	月	日	右者	年	月	日	ヨリ(何)	ニ從事中	年	月	日	(何)	ノ状況ニ於	テ(何)	ニ從事シ	月	日	頃	ヨリ(何)	ノ症狀アルヲ訴ヘ爾後(何)	處置ヲ施シタリ		
			所屬長				右證明ス																
			氏																				
			名																				

第十四號書式

事實證明書

公務員ノ官職名

氏

名

所屬長

氏

名

「兵庫青」

第十五號書式

備考 本證明書ニハ公務傷病ノ原因タル事實ヲ詳細ニ記載スヘシ

恩給證書(裁定通知書)再交付申請書

恩給證書ノ記號番號(裁定通知書ノ番號)

恩給證書ノ日附(裁定通知書ノ日附)

恩給金額

右恩給證書(裁定通知書)ヲ亡失(毀損)致候ニ付再交付相成度申請

候

年月日

退職當時ノ官職名又ハ
公務員トノ身分關係
本籍地
現住所

兵庫縣知事 殿

名

第三章 學校衛生

●學校清潔方法

昭和二年二月三日
兵庫縣訓令甲第二號

市役所 司村役場 公立學校

〔兵庫省〕

學校ハ多數ノ兒童生徒力長時間ニ亘リテ勉學運動スル場所ナルヲ以テ常ニ清潔ヲ保持シテ衛生上遺憾ナカラシムルヲ要ス而シテ學校ノ清潔ヲ保ツニハ日常塵埃汚物ノ發生ヲ防キ又其ノ除去ニ努メサルヘカラス現今校地ノ遷定校舍ノ建築等ニ關シテハ漸次改善ヲ見ツツアリト雖校地校舍ノ清潔方法ニ至リテハ勤モスレハ從來ノ慣行タル洒掃ニノミ重キヲ置キ塵埃ノ發生校舍ノ污染ヲ防止スル施設等未タ十分ナラサルモノアリ又掃除ノ方法宜シキチ得スシテ甚シク塵埃ヲ飛散セシメ爲ニ生徒兒童ノ健康ヲ害フカ如キコトナシトセス凡ソ斯ノ如キ弊ハ速ニ改善ヲ圖ラサルヘカラス學校當局者ハ地方ノ實情ニ鑑ミ左記方法ニ準據シテ夫々學校清潔ノ實績ヲ舉タルニ力メラルヘシ

學校清潔方法

學校ニ於ケル清潔方法ヲ分チテ日常清潔方法定期清潔方法及臨時清潔方法ノ三種トス

甲 日常清潔方法

一、校舍寄宿舎等ハ毎日人ナキ時ニ於テ窓戸ヲ開放シ適宜左ノ方法ニ依リ掃除ヲ行フヘシ
塵埃ノ飛散ヲ防ク爲先ツ如露ヲ用ヒテ少シク床ヲ潤シ静ニ掃出シタル後濕布ヲ以テ清拭シ又ハ濕リタル銀屑茶殻粉蓋等ヲ床上ニ撒布シテ之ヲ掃出シ或ハ狀況ニ依リテハ單ニ濕布ヲ以テ清拭スヘシ除塵油ヲ塗布シタル床ニ在リテハ單ニ掃出スカ又ハ除塵油ニテ濕シタル布片ヲ以テ拭フヘシ

アスファルト、ターケー、コンクリート、石、煉瓦等ノ廊下界障口運動場等ハ時々水ヲ以テ洗滌スヘシ

疊敷又ハ塵埃ノ飛散スル處ナキ場所ニ於テハ乾燥ノ儘掃出スモ支障ナシ

建具校具等バ濕布ヲ以テ清拭スヘシ

二、木床、リノリウム敷等ハナルヘク除塵油ヲ塗布スヘシ木床ニ塗油スルニハ先ツ曹達水ヲ以テ床面ヲ洗拭シ其ノ乾燥シタル後之ヲ爲スヘシ

塗油ハ春季夏季冬季ノ休業等ノ時期ニ於テ行フヲ可トス其ノ回数ハ兒童生徒ノ員數及校舍ノ構造等ニ依リ適宜斟酌スヘシ

三、教室廊下寄宿舎等ニ於テハ適當ナル箇數ノ屑箱及液體ヲ容レタル唾壺配置シ紙片其ノ他ノ廢棄物ノ散亂ヲ防キ且唾痰ヲ唾壺以外ニ喀出スルヲ禁スヘシ唾壺内ノ唾痰ハ消毒シタル後之ヲ便池ニ投棄スヘシ

四、黒板、黒板拭ハ常ニ清潔ヲ保タシ黒板ヲ拭ヒ又ハ其ノ掃除ヲ爲ス際ニハチヨーク粉ノ飛散セサルヤウ注意シ又黒板拭ハナルヘク室外ニ於テ清掃スヘシ

五、靴ノ儘外降スル校舍寄宿舎等ノ昇降口ニハ塵掃靴拭靴洗器等ヲ備ヘ室内外ニ砂塵ノ侵入スルヲ防クヘシ尙狀況ニ依リテハ上靴カバー等ヲ使用セシムヘシ

六、便所ノ尿溝注壁便池及其ノ周囲ハ不滲透性ノ物質ヲ以テ固メ尿溝注壁等ハ時々水ヲ以テ洗滌シ便池内ノ汚物ハ期ニ後レス汲取り常ニ清潔ヲ保チ惡臭ノ鬱滯ヲ防クヘシ

便所ノ手洗水ハ流出裝置ヲ爲スヘシ又共同手拭ヲ使用セシムヘカラス

七、宿直室寢室等ハ特ニ採光換氣ニ留意シ寢具ハ適宜日光ニ曝シ被布寢衣等ハ時々洗濯シ清潔ヲ保タシムヘシ

八、食堂炊事場浴室洗面所洗濯所等ハ採光換氣ニ注意シ且常ニ清潔ヲ保タ

昭和十四年一月二十二日印刷

昭和十四年一月二十五日發行

帝國地方行政學會編纂

株式帝國地方行政學會取締役社長

發行者 大 谷 仁 兵 衛

東京市京橋區銀座西七丁目壹番地

印 刷 者 大 谷 保

東京市京橋區銀座西七丁目壹番地

印 刷 所 行 政 學 會 印 刷 所

東京府立川町三九五五番地

兵 庫 縣
集令法校學年青

發行所

東京市京橋區銀座西七丁目壹番地
電話銀座四六六〇一六六三・振替東京一三

株式
會社

帝國地方行政學會

43

79



